

会 議 録

1 会議名	第 1 回 南砺市社会教育委員会
2 議 題	・ 委嘱状交付 ・ 委員長・副委員長の選出について ・ 報告事項 (1) 南砺市社会教育委員会に関わる組織・機構について (2) 令和 7 年度南砺市教育委員会重点施策について (3) 令和 7 年度社会教育委員会に関わる当初・補正予算概要について (4) 生涯学習事業について (5) 南砺市立図書館の取組みについて (6) スポーツ関係事業について (7) こども・子育て施策について ・ 協議事項 (1) なんと生涯学習フェス（仮称）（旧南砺市社会教育推進大会）の開催について (2) 令和 8 年南砺市二十歳の集いについて ・ その他 (1) 当面の主な行事予定について
3 開催日時	令和 7 年 6 月 2 4 日（火）午前 1 0 時 3 0 分から午後 0 時 1 0 分
4 開催場所	南砺市役所 別館 3 階 大ホール
5 会議出席者	南砺市社会教育委員 出席 12 人/全 14 人 委 員：武田和一（委員長）、岩井透（副委員長）、武田隆啓、横山一乃、山崎賢治、小松敬子、北島一朗、山田与志信、今川浩美、橋本正俊、高瀬敏一、秀永ゆかり 事務局：教育長、教育委員会教育部長、教育総務課長、南砺市立中央図書館館長、生涯学習スポーツ課長、こども課長、文化・世界遺産課係長、生涯学習スポーツ課スポーツ係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係主事
6 欠席者	委員：中川昇、酒井由美子
7 傍聴者	無し
8 議事内容	・ 開会 生涯学習スポーツ課長 ・ 開会あいさつ 教育長 委員の皆様方には大変お忙しいところ、ご参加ありがとうございます。また図書館協議会から引き続き参加しておられる委員の皆様は大変お疲れだと思っておりますが、どうかよろしく願いいたします。南砺市の教育についてですが、今年 4 月から第 3 次南砺市教

	育振興基本計画が始まりました。これに伴って5年間の重点目標を「全ての市民が活躍できる学びの体制づくり」としたところであります。生涯学習に焦点を当てて、単に環境づくりをすればいいわけではなく、市民が進んで参加してくれる、持続可能な体制を作っていくことがこれから必要になると思います。委員の皆様方には、それぞれの立場から、意見を言っていただき、ぜひこれからの教育行政に生かしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。 ・ 委嘱状交付 あらかじめ配布してある委嘱状をもって交付とする ・ 委員長・副委員長の選出について 事務局一任の意見により、委員長に武田和一氏、副委員長に岩井透氏を選任。 ・ 委員長あいさつ どうか2年間よろしくお願いいたします。社会教育委員は何をすればいいか、ということをよく言われます。なかなか難しいですが、地域によって社会教育委員の立場・構造が違うと思います。他方では大変身体を張って活動している地域もあるようですが、南砺市の場合は、行政から提案された項目等の諮問をして、皆様方の意見を聞きながらそれを行政に反映するという役目が多いかと思います。南砺市はメンバーを入れ替えて非常に若い社会教育委員が多くなりました。どうか皆様方の忌憚のない意見をお聞かせいただいて、スムーズに進行できればと思っています。よろしくお願いいたします。 ・ 進行 武田委員長 ・ 報告事項 （１）南砺市社会教育委員会に関わる組織・機構について 事務局：（資料１に沿って説明） （２）令和７年度南砺市教育委員会重点施策について 事務局：（資料２に沿って説明） （３）令和７年度社会教育委員会に関わる当初・補正予算概要について 事務局：（資料３に沿って説明） ● 質疑応答 （３）について
--	--

委員：木育・インクルーシブ遊具購入によって児童館機能充実化に300万円とあるが、どこの児童館に入るのか。児童館フリーWi-Fiスポットの整備は、どこの児童館に入るのか。放課後児童クラブの新設される2クラブとはどこか。

事務局：1点目の木育・インクルーシブ遊具については、今年度は福光児童館に設置する予定。次のフリーWi-Fiについては、城端・井波・福野・福光の4児童館に整備。放課後児童クラブの新設箇所については、4月から福野小学校に放課後児童クラブ「福野にここクラブ」が開設された。そして、7月に福野青葉幼稚園内で開設予定となっている。

委員：放課後児童クラブ新設とあるが、今までなかったのか。

事務局：今まで福野地域では、アルカスとB&G海洋センター内の2箇所があるが、受け入れ人数がオーバーしており、増設ということで福野小学校の放課後に空いた教室を使わせていただくものと、福野青葉幼稚園で新たに設けられることとなった。

委員：無料Wi-Fiスポットの設置により、こどもたちがゲームを持ちこむ遊び場になってしまわないか危惧される。当局としてはどのように考えておられるか。

事務局：同様の意見を多々いただいている。児童館職員と注意して見守りながら、利用制限などどのように運用していくか検討していかなければならない。

委員：フリーWi-Fiは、学校のタブレット端末も使えるのか。

事務局：学校のタブレットについては、学校ごとに運用方針があり、こどもたちにどう対応させていくかはこれからの協議となる。

委員：目的外の使用には注意を払っていただきたい。また、フリーWi-Fiを外部の方が建物入り口付近で留まってWi-Fiを使っているといった事例も聞く。児童館を利用することこどもたちのために考えていただきたい。

委員長：フリーWi-Fiの使用については、使用範囲が広く監視する者も大変だと思う。様子を見ながらルールを作っていただければと思う。

(4) 生涯学習事業について

事務局：(資料4に沿って説明)

●質疑応答

(4) について

委員：技研サービスの放課後子ども教室の内容を教えてください。

事務局：児童館での学習支援サービスであり、児童館の一室を使用し、講師を1名置き、児童館を利用することもたちが学校の宿題などを見てもらうことができる。4月から開始しており、福光児童館での開催予定は夏休み・冬休みのみで、現在は城端児童館と福野児童センターで実施している。

委員：京都大学交響楽団演奏会は、市内小中学校すべてに声掛けするのか。

事務局：校長会にて紹介させていただき、吹奏楽に関連する部活動がある学校にはぜひ出演していただきたいと依頼させていただいた。実際のところ、なかなか難しいという回答をいただいている学校もある。そういった学校についても、吹奏楽をやっている生徒に演奏会があることをお知らせしていただき、出たいという生徒がひとりでもおられたら参加できる体制を整えていきたい。

委員：小学校も参加するのか。

事務局：小学校も校長会にて確認させていただき、福野小学校の管楽器クラブが参加する予定となっている。

委員：井波小は合唱部があり、音楽に親しんでいるこどもたちが吹奏楽のある福野に進学するといった話も聞いたことがある。そういった音楽に興味を持ったこどもたちにも届くと思う。

(5) 南砺市立図書館の取組について

事務局：(資料5に沿って説明)

(6) スポーツ関係事業について

事務局：(資料6に沿って説明)

(7) こども・子育て施策について

事務局：(資料7に沿って説明)

●質疑応答

(7) について

委員：南砺市のこども・若者・子育て支援は他市町村と比べて手厚いのかどうか。

事務局：他市町村と比較した資料はないが、市単独で実施している事業が多くあり手厚いものになっていると思っている。

委員：南砺市の人口減少を食い止める魅力的な施策がラインナップされている印象だが、根本的な人口減少対策はどのように考えているか。

事務局：市の施策はすべて人口問題に繋がっていると考えている。昨年度、市の総合計画も改定され、人口問題に重きを置いてやっていくことは共通認識としている。こども・子育て支援についても、手厚い施策になっているが、プロモーションが下手だというご意見もいただいているので、様々な手法をこらしてアピールしていきたい。

委員：手厚くしていただいている印象をもっている。金沢との立地を考えたときに、金沢で勤務されている方や金沢で住まいを考えている方に南砺市を知ってもらえれば、南砺市を住まいの候補に入れていただけるのではないかと思う。

委員：幼児期からの生きる学び講座はどのような講座か教えてほしい。

事務局：今年度から取り組んでいる事業であり、幼児期のセクシュアリティ教育になる。年中児対象に自分の身体は大切ということを教えるとともに、保育士にもこどもたちに性に関する指導ができるよう、研修を実施する取り組みとなる。こどもの認め合う力を養うことでいじめなどの防止に繋げていこうとするもの。

委員：保育士に補助をするものなのか。

事務局：市が主催する研修に保育士も参加する。今年度から４年間かけてすべての園を回ってすべての保育士が知識を持ってこどもと接する市独自の取り組みである。

委員：子育て支援センターはそれぞれの地域の保育園に設置されているが、地元の方も、お嫁に来て知り合いのいない方にとっても、最初のつながりとなって相談に乗ってくれる場所だと思う。支援センターに来て、話をして、解決は得られないかもしれないけれども、そこで共感していただいてまた頑張ろうという思いになれる方も多くおられる。これから学校統合が進む中で、子育て支援センターも統合されていくのか。それとも、子育て支援センターは今のまま地域で保護者が身近に相談できる場として生き残っていくのか教えてほしい。

事務局：子育て支援センターについては、今年度の子育て支援センターあっぷるが廃止された。これは、福野地域にたんぽぽとあっぷるの２箇所あり、少子化の中でお越しいただく親子がそれぞれに少なく、保護者同士の繋がりができないといった理由から１箇所廃止してたんぽぽに集まろうということとなった。利用者は、ひとつに集まって仲間づくりができる。少なくとも町部の保育園には併設されるべきだと思っており、今後は利用者数を見ながらどういった方向に進んでいくべきなのか検討していく。また、先程、様々な事業をしていることのPRが足りないといった話もあったが、

もっと利用していただくようにアピール、広報活動を今年度は重点的に取り組んでいきたい。

・協議事項

(1) なんと生涯学習フェス（仮称）（旧南砺市社会教育推進大会）の開催について

事務局：（資料8に沿って説明）

(2) 令和8年南砺市二十歳の集いについて

事務局：（資料9に沿って説明）

●質疑応答

委員：二十歳の集いについては、社会教育委員は主催者側として開閉式の辞を述べている。近年、たまたま異なる会場に参加しているが、皆さんにも雰囲気の違いの違う様々な会場を見ていただくといいと思う。

事務局：ご自身のお子様やお孫様が二十歳のため、この会場がいいといった希望のある方はぜひ早めに教えていただきたい。ご意見を踏まえながら、皆様に各会場に出ていただけるよう検討していきたい。

委員：なんと生涯学習フェスの「なんと」はひらがなか漢字か。

事務局：「なんと」は、ひらがなで考えている。

委員長：協議事項について、これでよろしければ拍手でもってご承認いただきたい。

一同拍手

・その他

当面の主な行事予定について

事務局：（資料10に沿って説明）

・閉会のあいさつ 岩井副委員長

長い時間ありがとうございました。なんと生涯学習フェスと二十歳の集いの日程を手帳にしっかりと残しておいてください。今後ともそれぞれの立場で活動していただき、2月の第2回社会教育委員までに様々な意見を集めておいていただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。
本日はありがとうございました。